

愛してやまない 私の地元

今日の地元 江戸川区篠崎町

執筆：プロジェクトマネジメント事業部 八田 忍

私が現在住んでいるのは、東京都江戸川区篠崎町です。

10年ほど住んでいますが、ここ数年はマンションなどが立ち並ぶようになり、それと同時に駅前も店や公共施設なども多くなってきています。

1) 篠崎図書館

最寄の篠崎駅に直結の立地条件が良いところにあり、インターネットでのオンライン予約も可能な為、よく利用しています。

数年前に、立て替えられたこともあり、メディアワークルーム、ITコーナー、AVコーナーなどといった色々な設備が充実しています。私もたまに、パソコンを持ち込んで使用できるメディアワークルームで、仕事や勉強などで利用しています。

また、併設されている 伝統工芸カフェ・アルティザン という喫茶店もあり、食事や休憩もすることができます。

店内は、落ち着いた雰囲気です。ここのお店は、小松菜ジュースが有名ということなので、私も次の機会に試してみたいと思います。

2) 運動施設

私は、フットサルをやっているのですが、江戸川区の公共の運動施設を利用しています。

江戸川区には、水辺のスポーツガーデン、江戸川区スポーツランド、臨海球技場 という3つのフットサル場があり、うちのチームでも活用しています。

公共なので、料金も安いのですが、水辺のスポーツガーデンは、多目的広場という広めの運動場もあるので、色々なスポーツが楽しめます。

また、江戸川区スポーツランドは、夏はプール、冬はアイススケートのリンクが利用できるので、家族でも利用しています。

江戸川区は、住みやすいと思いますので、是非お立ち寄りください。



▲ 落ち着いた雰囲気の篠崎図書館



▲ 充実した運動施設

The 集客

感覚に訴えかける
プレゼンテーション

執筆：ITコンサルティング事業部
村上 宜久



プレゼンテーションツールは何をお使いですか?ほとんどの場合はPowerPointを使用していると思います。

しかし、PowerPointの資料だけをお客さまに送りつけて、商品やサービスを正しく理解いただくことは難しいと思います。

またホームページ上で商品説明のページを用意してもなかなか伝わりません。

だれでもすぐに理解できる商品やサービスであればいいのですが、新商品や伝えづらいサービスなどの場合、資料だけではなかなか理解していただけません。

例えば、“クラウド”という言葉の正しく理解しているようで理解していない方もいらっしゃいます。そういった方に資料などを用いて説明しても理解いただけません。

そこで、私は動画を提案いたします。動画でしたらイメージとして理解しやすく、どのようなメリットがあるかなどを感覚的に感じていただくことができるからです。

【クラウドを分かりやすく説明した動画】
<http://youtu.be/Dn7NAtzrL68>

いかがでしょうか。私のつたない説明よりも例として動画を見ていただいたほうがクラウドがどういうものかをすぐに理解していただけだと思います。

特に海外展開を考えている場合にも言葉ではなく、イメージで伝えたいほうが有効だと思います。

きっと競合他社はまだ行っていないでしょうし、自社の商品やサービスのプレゼンで、このような動画サービスを利用してみるのも手かもしれませんね。



Amazon Cloud Player Epipheo

編集後記



春です。環境を変えるにはうってつけの季節ですね。私は部屋のインテリアの雰囲気を換えようと思っているのですが、家具買い換えるのは勿体ないし...と思い、ペンキを買って来ました。リペイントだと費用もかからず、何より使っている家具に愛着が湧くのでオススメです!

ITコンサルティング事業部 kawamoto

アイロベックス通信は
弊社 HP 上からもダウンロード頂けます。
最新号、バックナンバーも掲載中です。
URL→<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>
アイロベックスのソーシャルメディア
Twitter→http://twitter.com/ilovex_official
Facebook→<http://www.facebook.com/ilovex.co.jp>

スマートフォンを活用した店舗報告書の支援システム
「FCレポ」の提供を開始!

新コーナー 教えて!西槇先生

美味しいごはんを求めて... 新宿ランチ

社長のひとこと

モダンアートが徐々に好きになったのは、直島と森美術館のおかげでした。昔から美術館に行くのは好きでしたが、モダンアートは「分かん」と食わず嫌いでいました。うちくが多くて頭でっかちだとも思っていました。

しかし、そんな私の固い思い込みも、センスのいいアイデアに満ちた企画展に出会ったことで、これも面白い。と思うようになりました。正に、キュレーターの方でした。

今の私は美術展も必ず解説をしっかり聞きながら楽しんでいます。

確かに、良いものは良い、好きなものは好き、美しいものは美しいには違いはないのですが、そこに作者の意図や思いを見つけて追加して教えてくれると、心や気持ちだけでなく、理性的にもすごいと思う気持ちがミックスして湧いてきます。

言葉によって情報を得ることが感情をより高めることに貢献するんだなあと思う瞬間です。

ITの世界では、キュレーターの役割を果たしてくれているNAVERというサイトもあります。



代表取締役社長 杉山 淳子

教えて! 西楨先生コーナー! 

Q. サーバーのハードディスクはRAIDでミラーリング (RAID1) しているのですが、バックアップはとらなくても大丈夫ですか? 記事: システム開発事業部 西楨 正俊

こんな質問をいただくことがあります。RAID のミラーリングは、あくまでもハードディスクが壊れたとしてもサービスを継続するためのものであり、バックアップとは違います。バックアップが必要なシーンを考えてみるとわかるかと思えます。

- ★ シーン1 : 間違えてファイルを削除してしまった。
- ★ シーン2 : プログラムのバグにより誤ったデータ更新が大量に行われてしまった。
- ★ シーン3 : 2 日前のデータにどうしてもさかのぼって調査する必要がある。
- ★ シーン4 : RAIDカード、RAID構成にしていたHDDが全部壊れた。

こんな時、HDDのミラーリングは役に立ちません。ミラーリングはあくまでも現時点のデータを2重に保護しているだけなので、過去にさかのぼることや、消してしまったファイルを戻すことはできません。逆に RAID が有効な場面は、HDD が壊れても正常に動作しているHDDがあればサービスを継続できるので、業務を中断する必要がありません。

先ほどあげた、シーン4は私自身最近体験しましたが、本当に世界が終わったかと思いました。やはりバックアップは大事です。

美味しいごはんを求めて… 新宿ランチ

今回ご紹介するのは、新宿にある手打ち讃岐うどん屋「母屋」です。お店はアイロベックスからは歩いて5分くらいで、東京医科大学へ続く道の途中にあります。通りすがりにいい匂いがしたので、フラリと立ち寄りしてみました。

まだ肌寒い日だったため、温かいあんかけうどんを注文しました。あんかけ三姉妹シリーズのあきこ、マサ子、道代という変わったネーミングのうどんがあり、この日は「あきこ」の野菜あんかけうどんをチョイス。野菜たっぷり、しかもあんかけで優しい味…。ボリュームはちょっと多いですが、男性でも満足できる量だと思います。

うどんの出汁は関西風ですので、関西出身の方は立ち寄り故郷のうどんを召し上がってはいかがでしょうか?



▲ “あきこ” 野菜あんかけうどん



▲ うどん定食 (かやくごはん付)

母屋(おもや)
東京都 新宿区新宿 5-8-14 新宿オービル 1F
TEL:03-3356-1799
ランチタイム 11:00 ~ 14:30
ディナー 18:00 ~ 23:00

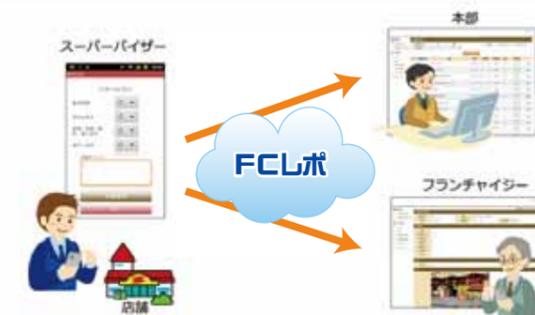
● スマートフォンを活用した ● 店舗報告書の支援システム「FCレポ」

記事: システム開発事業部
千葉 鷹志・大久保 綾香

スマートフォンを活用した店舗報告書の支援システム「FCレポ」の提供を開始いたしました。

このシステムは、複数店舗の統括、新規出店の為の立地調査などのポジションの方がスマートフォンを使用して報告書を作成・送信できるシステムです。

移動中に報告書を作成/送信ができ、フランチャイジーへも自動でメール配信されます



point 1 **アンドロイドで簡単に訪問報告**
アンドロイドから店舗状況/日報、立地調査の報告が可能です。本部に戻る必要がないので、現地や移動中にタイムリー且つ効率的に報告できます。

point 2 **リアルタイムで報告チェック**
リアルタイムでスーパーバイザーからの報告を本部でチェック、集計ができます。

point 3 **GPS機能を使った該当店舗検索**
スーパーバイザーが店舗付近に移動することによって、GPSにより現在地を予測、お店を選択表示させます。立地調査の場合は、現在地が自動で表示されます。

実際に開発を担当した千葉と大久保に、もっと詳しく聞いてみました!



千葉 鷹志

1.チェック項目が簡単に変えられる

店舗を訪問し、チェック項目に従って点数をつけていく訳ですが、お客様によって、項目は異なりますし、業務の移り変わりによって内容を変えたい、という要望も出てきます。このシステムでは、本部のユーザーがチェック項目の追加や削除、修正を行えば、各ユーザーの端末に反映されるようになっているので、アプリの更新といった手間はありません。

2.位置情報の取得部分

このアプリでは、ユーザーが入力を行う際に、位置情報を取得し、自動で直近の店舗を選択するようになっています。店舗が多いと選択が大変、という理由もありますが、実際に店舗を訪問してチェックしたかどうかということも判断することができます。チェック用紙に入力してFAXで送ったり、会社に戻って報告書を作成する、といった手間を考えると、アプリで入力を行えば、それが即座に反映される、というのはスマートフォンならではの利点です。

スマートフォンから登録された報告内容は、リアルタイムでPCの管理画面で閲覧できます。報告書を紙で作成していると、調査から報告まで時間が空いてしまうことも多いと思います。

「FCレポ」は時間や場所に関係なく報告書の作成から送信まで一貫してできるので、業務時間の短縮や負荷の軽減が可能となります。また、スマートフォンから送られた写真は管理画面で確認できるので、視覚的に情報を共有できます。

検索機能も充実しており、営業担当や店舗名・報告日で検索できます。見たい情報に絞った一覧を表示できるので、訪問履歴や過去の評価を見たい時は紙の束から探すことなく、簡単に確認できます。



大久保 綾香



アイロベックスの
桜前線

システム開発事業部 松本 智子

弊社オフィスの窓からは、お隣の花園神社の桜が、真正面に望めます。普段はブラインドを下ろしていますが、毎年この時期だけは、ブラインドを開け、皆で桜を楽しんでいます。

今年は、東京の桜の開花が早く、3月下旬ごろから桜を眺めることができましたが、開花以降寒い日が多く、もったいないなと思っていました。ですが、そのおかげか、予想以上に花が長持ちし、3月末までは窓に背を向ける席だった私も、4月の席替えからは、ディスプレイの向こうに桜を見ながら、仕事をすることが出来ました。来年の桜も楽しみです。